



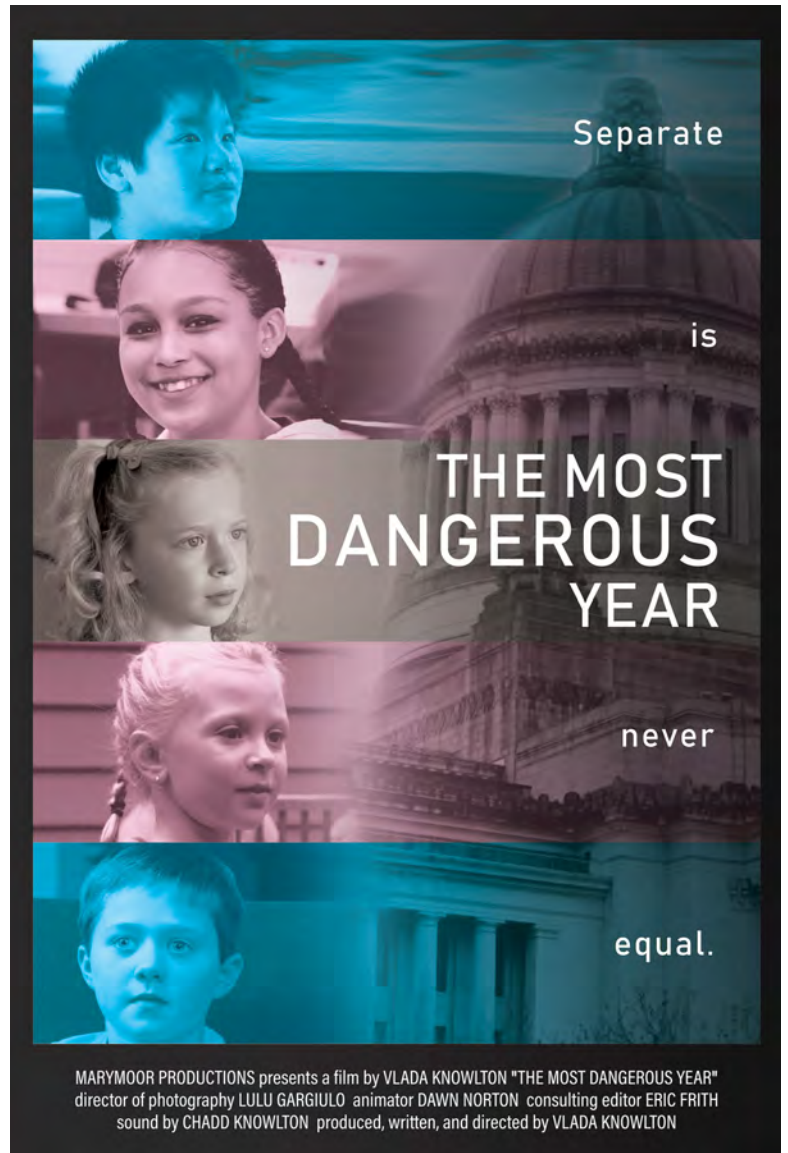
最も過酷な年

教育用スクリーニング・ディスカッション・ガイド（日本語版）

www.themostdangerousyear.com
(c) 2018 Dangerous Year Productions

映画の概要

2016年、トランスジェンダーに関する差別的な法律の波がアメリカ合衆国の全土に広がった。ワシントン州では、トランスジェンダーの子どもを持つ家族のグループが、ホームタウンに押し寄せる差別の波に抵抗するため、州議会議員と公民権を守る市民活動家の支援を受け、子ども達の人権と自由を守るための前代未聞の闘いの旅に乗り出した。



映画の制作者からの手紙

2014年、夫と私は、末っ子がトランスジェンダーであることを知る準備ができていませんでした。当時、トランスジェンダーであることの意味に関する正確で信頼できる情報の量は少なく、見つけるのが難しかった。でも、子ども達の話聞いて、できるだけ調べました。

私達（家族グループ）は、その動揺する経験を通して、より幸せで健やかな家族になり、知識と理解を深めることが出来ました。その頃(私は既に映画制作者として働いていましたが)、私は夫に、この話題について映画を作るなんて想像できないと言ったことを覚えています。あまりにも個人的すぎる（家族のプライバシーに関わる）問題のように感じたので、うまく表現できるとは思えなかったのです。

2015年の12月、私の友人であり、（トランスジェンダーの子ども達を持つ）親を支援するグループの創設者でもあるエイダン・キー氏から電話がありました。彼は、トランスジェンダーを差別する法律による暗い時代が近づいていること、私達の国と州に（差別の）波が襲いかかろうとしていることを教えてくれました。

エイダンは、ワシントン州のトランスジェンダーコミュニティと彼の愛する人々に、何が起きようとしているのかを、私が記録に撮ることを期待していました。

その時、トランスジェンダーの子ども達についての映画制作について、もう迷っている時間は無いのだということに気が付きました。トランスジェンダーの人々への差別は、もはや、私だけの問題ではなく、とても、弱く、無理解に晒されている人々の、人権と公民権のための闘いだったのです。私が今作らなければ誰がするのか？

この映画が、トランスジェンダーの人々とその家族の公民権や人権を守らなければならないときの経験だけではなく、私達人類の新たな真実と、複雑で豊かな多様性を発見するための、終わりのないプロセスに取り組む全ての人々の経験を理解するための、有益で、教育的で、貴重な資料と成ることを期待しています。

ヴラダ・ノウルトン

ガイドブックの使い方と 上映会について

皆さんが、この映画を生徒達と共有することを決定したことをうれしく思います。
学校や教室の環境は全て異なり、議論も様々ですが、このガイドには、この映画を尊重した生産的な議論を促進するためのヒントが含まれています。
この映画を視聴して得られる経験は、トランスジェンダーの人々とシスジェンダー(※)とで、大きく異なる可能性があります。
あなたがトランスジェンダーまたは典型的なジェンダーに当てはまらない（GNC）である場合、もしできるならば映画の中のトランスジェンダーの人々とあなたの経験をどのように較べられるか分かち合ってください。
あなたがシスジェンダーである場合は、この映画がトランスジェンダーまたは典型的なジェンダーに当てはまらない人々（GNC）にとってどのように映るかを考えてください。
どうすれば議論が、トランスジェンダーやGNCの学生にとって、安全でサポータティブになるか考えましょう。
このガイドでは、映画の中で言及または参照された時間を、例えば（8:23）のように表記しています。
これにより、ディスカッションの開催中に、特定のシーンに戻って確認することができます。

☆日本語版では、原文には記載が無い補足を加えた場合に文章中に☆印を付し、このように補足を加えています。

☆また、日本語としての読みやすさを優先し、原文には無い①②③のような丸数字を付し箇条書きとした箇所が一部あります。

※) シスジェンダー：トランスジェンダーではない人を指す言葉。性同一性が最も一般的な方法で目に見える生殖解剖学と一致する人々のこと。

映画を視聴する前に

約束やグランドルールを決めておこう

ディスカッションを安全でサポートティブなものとするために、グランドルールや約束を設定して確認しましょう。グランドルールや約束はディスカッションに参加する全員が従うべき重要なルールであり、会話に参加することに不安を感じるかもしれない人の助けとなるものです。

キーとなるいくつかのルールや約束には次のようなものがあります。

①一度に1人が発言します。発言の途中で邪魔をしてはいけません。

②お互いに、どういう名前と呼ばれたいか確認しましょう。あるいは彼や彼女のような代名詞について確認しましょう。

③秘密を守りましょう。ディスカッションで知った個人情報や議論の内容を、個人が特定できる形で他所で話してはいけません。

④議論の内容が不快に感じたら部屋から出られるようにしましょう。トランスジェンダーの人々の現実を想像しようとする議論に、トランスジェンダーの学生たちは参加したくないかもしれません。

⑤自分自身と生徒のために語彙を復習しておきましょう。重要な用語の理解を共有できれば、議論はさらに深まります。

ガイドブックの9ページ以降に、映画で使われている主な用語のリストと、このガイドブックに書き切れなかった用語の定義について書かれた様々なウェブサイトへのリンクがあります。

⑥生徒とその家族を知ることが大切です。あなたの生徒や同僚にトランスジェンダーやGNCの人々がいるなら、その生徒や同僚の許可を得て、上映後のディスカッションの中で、彼ら彼女らの声を伝える機会を見つけましょう。

この映画のテーマについて

この映画には次の4つの重要なテーマがあり、ガイドはそれらのテーマによって構成されています。

各セクションでは、映画について生徒がディスカッションをするために使える質問を用意しました。

1. 政治/立法
2. 科学/研究
3. 公民権（シビル・ライツ）
4. トランスジェンダー・エクスペリエンス



教育者向けの情報

(この映画が制作された社会的な背景について)

米国のトランスジェンダー法

2016年初頭、ヒューマン・ライツ・キャンペーン [1] は、2016年を米国のトランスジェンダーにとって最も過酷な年とするレポート(下記のリンク)を発表した。

その年、トランスジェンダーの人々から基本的な公民権を奪い、米国社会で自由に開かれて生きることを事実上不可能にしようとする、前例の無い差別的な法律の波が、アメリカ合衆国の全ての州に押し寄せた。

2016年の終わりまでに、トランスジェンダーの人々が中核的アイデンティティに基づいて男女別のトイレやロッカールームを利用することを制限することを目的とした150以上の法案が、少なくとも24の州で提出された。

2018年(このガイドブックの発行年)には、少なくとも10の州が、公共施設、医療、教育、住宅、雇用における平等な扱いとアクセスを無効にすることを目的としたトランスジェンダー対策法案を20以上提出した。

米国の現在のトランスジェンダー法の詳細については、以下のリンクを参照してください。

- ・反トランスジェンダー法に関するヒューマン・ライツ・キャンペーン 2016レポート

<http://assets2.hrc.org/files/assets/resources/HRC-Anti-Trans-Issue-Brief-FINAL-REV2.pdf>

- ・NASPA (高等教育の学生担当管理者) レポート- 2018年のトランス・ライツの状況

<https://www.naspa.org/rpi/posts/the-status-of-trans-rights-in-2018>

- ・トランスジェンダー平等ナショナルセンター

<https://transequality.org/action-center>

[1]<http://assets2.hrc.org/files/assets/resources/HRC-Anti-Trans-Issue-Brief-FINAL-REV2.pdf>

(最終検索2018年12月9日)

2016

フィルムストーリーと タイムライン (出来事)

1月

トランスジェンダー当事者の性同一性に合致するトイレの使用を施設側が拒否できるようにする為の法案が、ワシントン州議会に6件(下院4件、上院2件)提出された。

1月から5月

エイダン・キー氏、ジャスティン・フォックス-ベイリー氏、スコット・ピーコック氏は、スノホミッシュ学区☆が提案しているトランスジェンダーを包摂する政策を立案、説明するために、ワークショップを開催した。

1月

SB6443 (反トランスジェンダー法のひとつ) についてのワシントン州議会上院公聴会がオリンピアで開催された。この公聴会の席で、ライアン・トレイナー氏、エイダン・キー氏、デビッド・ワード氏などがこの法案に反対する意見を述べた。

2月

ワシントン州議会上院では、SB6443が議会で否決されたが、ワシントン州議会共和党上院議員ジョー・フェイン (保守) も反対に投じた結果、一票の僅差で退けた。

3月

ジャスト・ウォント・プライバシー☆は、トランスジェンダーに反対する同内容の5件の法案をワシントン州議会へ提出したが、ワシントン州議会は、これらをすべて否決した。

否決された僅か2週間後の3月18日、彼ら (ジャスト・ウォント・プライバシー) は、6つ目の反トランスジェンダー法案(I-1515)をワシントン州議会に提出した。

☆スノホミッシュ郡 (英: Snohomish County) は、アメリカ合衆国ワシントン州のピュージェット湾東岸に位置する郡。ピュージェット湾 (ピュージェット・サウンド、Puget Sound) は、アメリカ合衆国北西部のワシントン州にある湾。 (<https://ja.wikipedia.org>より)

☆ジャスト・ウォント・プライバシー：白人至上主義を標榜し、同性愛者やトランスジェンダーの人々を差別するための政治活動を行う活動家団体によるキャンペーン。

2016

フィルムストーリーと タイムライン (出来事)

4月

ジャスト・ウォント・プライバシーはトランスジェンダーに反対するために6件の法案をワシントン州議会に提出したが敗北した。そして、その評決と説明に異議を唱えるため国務長官に申し立てた。その後、サーストン郡上級裁判所で2件の審理が行われ、ジャスト・ウォント・プライバシー側の異議申立てに対して2人の裁判官はこれを却下した。

4月

レントンの第1合同メソジスト教会で、ワシントン差別撤廃キャンペーンが開催された。

4月下旬から7月上旬

ジャスト・ウォント・プライバシーは、ワシントン州全域でI-1515（反トランスジェンダー法案）の署名を集めた。

6月

ジャスト・ウォント・プライバシーは、ワシントン大学タコマキャンパスでプレス・カンファレンスとQ&Aセッションを開催した。

6月

スノホミッシュ☆学区委員会（教育委員会）はI-1515に関する最終公聴会を開催し、トランスジェンダーを包摂するための政策について議論し、満場一致でこれを承認した。

7月7日

ジャスト・ウォント・プライバシーは、I-1515（反トランスジェンダー法）を議会に提出するための署名活動を行ったが、十分な数の署名が集まらなかったため、提出先としていたワシントン州議会議長のオフィスとのアポイントをキャンセルした。

主な用語

●アライ

支配的なグループの一員であることで得られた不当な特権を認め、そのような不正に変化をもたらす責任を果たそうとする人のこと。

女性に対する性差別を終わらせるために尽力する男性、人種差別を終わらせるために尽力する白人、同性愛嫌悪を終わらせるために尽力する異性愛者、トランスフォビアを終わらせるために尽力するシスジェンダーの人、障害者に対する差別を解消するために尽力する健常者などがあります。[2]

●出生時に割り当てられた男性または出生時に割り当てられた女性(AMABまたはAFAB)

出生時に（ほとんどの場合）医師が外性器の形状によって人の性別を決めていることを示すために、「生物学的性別」の代わりに使われる言葉。「生物学的性同一性」（脳によって決定される）と一致する場合もあればしない場合もあります。また、性分化疾患の場合は外性器の形状が内性器の状態と一致する場合もあればしない場合もあります。

●シスジェンダー

トランスジェンダーではない人を指す用語。言い換えれば、性同一性が目に見える生殖の解剖学的構造と一致する人。大多数の人々はシスジェンダーとして生まれる。

●性自認☆

脳によって決定される、人の生まれつきの性感覚。小児発達研究によれば、2~3歳の早期にすべての小児(シスジェンダーとトランスジェンダーの両者)に性自認が発現します。

●性別代名詞

ある人がその人と話したり、その人について話したりするときに、他の人に使わせたい代名詞または代名詞の組み合わせ。例えば、性同一性が女性である人は、一般的に、彼女について話するとき、She/Herを使うことを好む。性同一性が男性である人はHe/Himを好む。They/Themを使う人もいる。

☆Gender Identityの日本語訳は性同一性であるが、原文の内容が性自認について説明しているため「性自認」としました。「性同一性」については、明治大学の佐々木掌子准教授のエッセイのURLを付記します。

<https://drive.google.com/file/d/1PYucmprSPisYFhy3NJV7fjdCppYInyPi/view>
心理臨床の広場 Vol.10 No.2 2018 より（佐々木掌子）

☆ガイドブックの翻訳にあたっては原文に沿って翻訳していますが、「性自認」の解釈には様々な意見があります。「性自認とは「社会的に構築された性別の個人の感覚」であって「脳」によって決定されるわけではない」という意見もあります。

[2] トランスフォームの受容: オーガナイザー・ガイド, The Leeway Foundation, ©2018 から引用.

主な用語

●ジェンダー・フィア／ジェンダー非典型(GNC)

社会的に構築された性別に適合しない個人の性同一性を記述するために使用される用語。男性でもあり女性でもあるか、男性でも女性でもなく、連続した性別の間にあるか、二項性の性体系の外側にあると感じる人々。アンドロジナス、バイジェンダー、ジェンダー・フリュイド、ジェンダー・ニュートラル、ジェンダー・バリエーション、ノン・ジェンダー、パン・ジェンダー、ツー・スピリット、などがあります。他にも多数。

●インターセックス

生物学または生殖解剖学上の女性または男性の典型的な定義に適合しないで生まれるさまざまな状態に対して使用される一般的な用語。例えば、外見は女性のように見えるが、解剖学的には典型的な男性の特徴を持つ人が生まれることがあります。また、通常の男性と女性のタイプの中間にあると思われる生殖器を持った人が生まれることがあります。たとえば、著しく大きなクリトリスを持っていたり膣口が無い女の子、または、ペニスがとても小さかったり陰嚢が分かれて陰唇のように形成された男の子が生まれる事例があります。また、性染色体がモザイクの場合もあります。彼女の細胞の一部にはXX染色体があり、一部にはXY染色体があります。私達はインターセックスを先天性疾患として話しますが、解剖学的な特徴は常に出生時に現れるとは限りません。思春期になって気が付いたり、成人になってから不妊症の診断を受けて気付くこともあれば、本人が亡くなってから検死等で発見されることもありますし、自分自身も周囲も気が付かないまま、一生を過ごすことさえあります。[3]

☆ここでは原文に沿ってインターセックスと翻訳していますが日本では当事者団体により（体の性の様々な発達：Differences of sex development(DSDs)）とされています。
詳しくは、<https://www.nexdsd.com/dsd> を参照のこと。

[3] www.isna.org/faq/what_is_intersex（最終閲覧2018年11月7日）より
北米インターセックス学会（ISNA）は2008年にクローズし、ウェブサイトの更新を中止したが、ISNAの活動はinterACT:Advocates for Intersex Youthによって継続されている。<https://interactadvocates.org>

主な用語

●セックス

出生時の生殖器の形状に基づいて、医師の判断で男性または女性と決定した性別。「生物学的性別」と呼ぶ人もいますが、この用語は、起こりうる複雑な生物学的、解剖学的、染色体上の変異を完全には捉えていません。2つの選択肢（生物学的男性または生物学的女性）だけでは、人の体内で起きていることを説明できないことが分かってきました。

また、「出生時に割り当てられた男性」や「出生時に割り当てられた女性」という言葉を使う人もいます。これは、誰か（しばしば医者）が外性器の形状で人の性別を決定していることを指しています。また、このことは、脳が認識する生物学的性同一性は、その人の内性器と一致する場合もあれば、一致しない場合もあるということを意味します。（「インターセックス」の例）

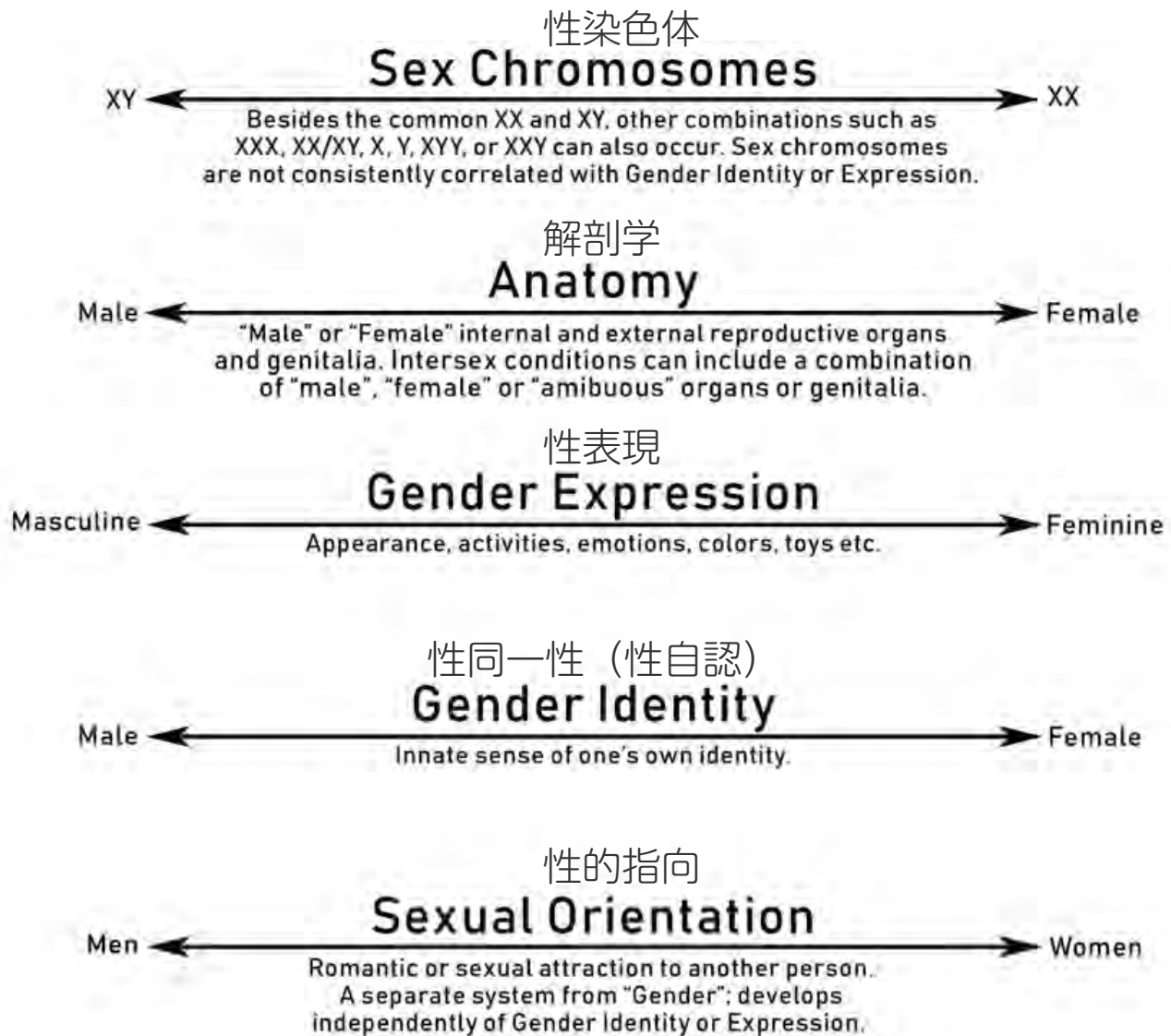
●トランスジェンダー（トランス）

性同一性が、出生時に割り当てられた性とは反対の性別であるか、性のスペクトルのどこかに位置している可能性がある人のこと。（単なる「男性」「女性」のどちらでもない）

☆ここでは原文に従って翻訳しています。日本では、性同一性障害という言葉が広く知られていますが、海外ではあまり使われていません。日本では医療から生まれた言葉が「性同一性障害」（性別違和、性別不合）であり、当事者がプライドを主張するために使い出したのが「トランスジェンダー」であるとの解釈もあります。

Some Key Elements of the Gender and Sex Spectrums

ジェンダーと性別スペクトラムのいくつかの重要な要素



上映後のディスカッションのための 質問集



テーマ1：政治／立法

Q. （反差別法に対抗して）「バスルーム法案」（自身の性同一性に合ったトイレや更衣室を使用する権利をトランスジェンダーの人々から奪おうとする法案）を支持する人達の主張の核心は何ですか？

A. 性犯罪者が自身の性別とは反対の性別に「装い」、反差別法を悪用して公衆トイレにいる人々、特に少女を犯罪行為の標的にすることができる。（8:33）また、反差別法は「小児性愛者と人身売買人に道を開く」という主張。

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ1：政治／立法

Q：ワシントン州の差別禁止法は、性犯罪者の男性が女性に「装い」、女性のトイレや更衣室に侵入することを合法化したのですか？

A：いいえ、ワシントン州の差別禁止法は、性別を偽って公衆トイレや更衣室に入る人を保護しないことを明確にしています。

トランスジェンダーでは無い、あるいは非典型的性別の人では無い人が、反対の性別に「装い」、性別を偽って、公衆トイレや更衣室に侵入したならば、起訴される可能性があります。

Q：公衆トイレや更衣室で性犯罪者から人々を守るために「バスルーム法案」が必要であるという主張を支持する証拠はありましたか？

A：いいえ、ワシントン州または米国のどこの地域についても、トランスジェンダーの人々が性同一性に合った施設を使用できるようにすることによって、性犯罪が増加したという証拠はありません。

Q：人々が公共の場で被害に遭うことを防ぐために、どのような法律がすでに施行されていますか？

A：性的暴行、ハラスメント、盗撮、猥褻物露出などの犯罪行為を取り締まるための法律が既にあります。これらの法律は、性同一性に関係なくすべての人々を犯罪行為から保護します。

Q：（犯罪防止の有効性に関する）エビデンスが欠けているのにも関わらず、「バスルーム法案」が依然として高い支持を維持している理由について、あなたはどのように考えますか？

A：マジョリティとは異なる人々に対する恐怖や、トランスジェンダーに対する不信と恐怖を呼び起こすために有効な効果を含む、終わることの無い議論になるから。

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ1：政治／立法

Q：「バスルーム法案」がトランスジェンダーの人々の安全性リスクを高めることを示す証拠はありますか？

A：はい、統計はトランスジェンダーの子供と大人は、性同一性や性表現と一致しないトイレを使用した場合など、特に視覚的に「目立つ」場合には、嫌がらせや攻撃を受けるリスクがとて高いことを示しています。（8:57）カレン・カイザー代表はこの事実
に言及しています。）

Q：「バスルーム法案」を支持する二次的な議論は、（（彼ら | 彼女ら）と同じ）性同一性の、他者から（見たとき）の見た目が異なっているという理由だけでトランスジェンダーの存在が誰かを不快にするかもしれないというものです。この映画の中で、一部の人々は、それ自体が「性的暴行」に似ているとさえ示唆していますが、このような意見は、この状況に対する公正な評価だと思いますか？

また、個人の外見が他の誰かを不快にさせる可能性があるという理由で、その人の公民権を制限することは公平だと思いますか？

A：公民権の章の議論と結び付けて考えるべきです。つまり、黒人や障害のある人々の過去の他の公民権闘争に基づき、私達は、単に自分たちがコントロールできない身体的な違いのために、法を順守する個人の公民権と人権を制限することは違憲であると判断し、現在に至っています。

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ2：科学／研究

Q：トランスジェンダーの権利に反対する議論の1つが、上院公聴会で証言した警察官によって映画の中で描かれています。

(9:46) 「・・・それは、あなたが、どんな部品（身体のパーツを示唆）を持っているかと同じくらいシンプルです。」と言いましたが、彼の評価は正確ですか？

A：現在の研究によると、外性器は必ずしも人の性同一性や内性器や性染色体を推測させるものではありません。

Q:現在の研究からわかっていることによると、トランスジェンダーは個人的な「選択」なのでしょうか、それとも生まれながらのものでコントロールできない特性なのでしょうか。

A：それは人が生まれつき持っていて、コントロールできない特性です。

Q：現在の研究によると、人間のジェンダーは生殖解剖学、染色体、あるいは（彼ら | 彼女ら）の脳によって決定されるのでしょうか？

A：染色体と生殖解剖学による性別は、個人の性自認☆とは必ずしも一致しません。私達の知る限り、個人の脳は性自認と一貫したマーカーを示しているもので、それは脳によって決定されるという見方が最も有力です。

Q：映画を見た後、ジェンダーと生物学的性別に対する理解はどのように変わりましたか？ また、映画の中であなたの理解に影響を与えた具体的な瞬間や情報は何かですか？

☆文脈上、Gender Identityを「性同一性」ではなく「性自認」と訳しています。

アメリカでは2010年代に脳神経科学的に人間の心理を解明しようとするムーブメントが起こったことで、現在も様々な領域にその影響があると言われています。

社会的に構築されたジェンダーに対する自己の認識を脳科学的によって解明しようとする試みには当然批判もあります。日本では欧米にはあまりみられない、「性同一性障害」への当事者の帰属意識が高まった時期があったように、科学的な権威によって安心を得たいというのは人々の常であり、このことのみによって、この映画全体を否定することが無いようにお願いします。

この映画の価値は科学的な知見の正しさの是非にあるのではなく、市民活動によってトランスジェンダーの子ども達を守るために立ち上がった家族の姿です。

上映後のディスカッションのための 質問集



テーマ3：公民権

Q：公民権は、社会の中で不当な扱いから個人を保護するために設けられた広範かつ重要な権利のセットです。教育、雇用、住宅、公共施設などを含む多くの環境で、そして法的に保護された特定の特性に基づいて、平等な待遇を受ける（そして不当な待遇や差別を受けない）個人の権利です [4]

- ①あなた自身の言葉で公民権とは何ですか？
- ②誰が公民権を持っていますか？ 持っているかいないか、どうやって知ることができますか？
- ③あなた自身の言葉で差別とは何ですか？

<https://civilrights.findlaw.com/civil-rights-overview/what-are-civil-rights.html>
(最終検索 2018年11月26日) より

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ3：公民権

Q：アメリカ合衆国で公民権運動といえば、歴史的には1950年代と1960年代の黒人の解放運動を指します。1964年の公民権法の成立により、人種、肌の色、宗教、性別、国籍に基づく差別が禁止され、学校、仕事、公共の場における人種差別の撤廃を勧告しました。

①あなたの自我同一性を構成する、人種、宗教、性別、出身国などの、あなた自身が持っている特性について考えてみましょう。また、1964年に公民権法が可決されるまで、つまり今から55年以上前のアメリカで、あなたと同じ特性の人が持っていなかったかもしれない公民権には、どのようなものがありますか？

②あなたと同じ特性を持つ誰かが、20年前には持っていなかった権利は何ですか？

③その公民権はどのようにして獲得されたのですか？

Q：(1:15:11)ワシントン州副知事のサイラス・ハビブ氏は、トランスジェンダーの公民権について、1990年アメリカ障害者法とその重要性について話していますが、なぜ彼はこの比較をしたのでしょうか。

(障害を持つ人々とトランスジェンダーの社会的な課題（チャレンジ）の類似性について議論してみよう。)

①障害者の人々が他の人達と同じ社会的資源を利用できるようにしなければならないのは何故だと思いますか？

②私達の社会は、トランスジェンダーの人々が他の人々と同じ資源を利用できるようにすべきだと思いますか？

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ3：公民権

Q：公衆トイレは、しばしば、人種や性的指向による差別の場となりました。例えば、かつてジム・クロウ法が全米に拡大したとき、黒人やその他の有色人種は白人と同じ公共施設（トイレを含む）を利用することが禁止されました。ジム・クロウ法は、白人専用のトイレを使用したために殺された人々を含め、多くの黒人の死につながりました。

[5]トイレが公民権闘争の議論の場になるのは何故だと思いますか？

A：トイレや更衣室は、人が傷つきやすく無防備になる場所であることと関係しています。

Q：学校もまた人種やジェンダーをめぐる公民権闘争において、今も主戦場となっています。（ブラウン 対 教育委員会 [6]参照）

かつて、差別主義者たちは、「学校が統合されたら、白人の女子生徒は有色人種の女子生徒と同じトイレを使うのを避けようとするため、トイレに行けなくなるだろう。」と主張しました。[7]

①あなたは、学校が公民権闘争の主戦場になるのは、どうしてだと思いますか？

[5] <https://www.lgbtmap.org/file/bathroom-ban-laws.pdf>（最終検索 2018年11月26日）より

[6] <http://www.uscourts.gov/educational-resources/educational-activities/history-brown-v-board-education-re-enactment>（最終検索 2018年12月10日）より

[7] <https://www.lgbtmap.org/file/bathroom-ban-laws.pdf>（最終検索 2018年11月26日）より

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ3：公民権

Q：「分離すれど平等」とは、人種差別を合法かつ合憲とした20世紀初頭の法的教義です。

あなたは、（過去の人種差別を踏まえて、私達が今直面している、）この差別的なバスルーム法案に関する議論において、「分離すれど平等」という思考が惹き起こす影響についてどう考えますか？

A：この議論は、身体的に異なる人々を「その他☆」と見做す問題に関連していると思われる。この問題は恐怖と偏見によって動機付けされています。（57:03）人種と性別における「分離すれど平等」思考の明確な関連性が示されています。

Q：ワシントン州ファイン上院議員は次のように述べました。（38:15）：「あなたの考えを理解したいと思う。それは、この問題に対する私の考えを根本的に変えると思う。しかし、個人の権利や尊厳、憲法上の権利が侵されている時に、世論調査を優先にはしません。私はプリンシプル☆に基づいて（州議会）で投票します。」

- ①あなたは、ファイン氏の意見に賛成ですか、反対ですか？
- ②「（州議会）で投票しない」（バスルーム法案に反対しない）というプリンシプルがあるとしたら、それはどのようなものだと思いますか？

Q. あなたは、LGBTQに対する差別が許されている州に住んでいますか？ それとも、LGBTQの人々を法的に保護している州に住んでいますか？

- ①バスルーム（トイレ）に特化した法律は定められていますか？
- ②法律が整備されていなくても、自分で選んだトイレを使うことができますか？
- ③あなたの住む州（自治体）では現在、様々な差別をめぐって司法や立法の論争がありますか。
- ④もし、あなたの住む州（自治体）に法的保護があるなら、あなたの住む州（自治体）は、いつ、どのようにして、LGBTQの人々を保護するための法律を定めましたか？

☆その他：原文では"other"と表記、「得体の知れない他者」を意味するように思われる

☆プリンシプル：個人が信ずる道徳的原理・原則

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ4：トランスジェンダー・エクスペリエンス

Q：映画の中で、トランスジェンダーの生徒が学校で遭遇するさまざまな経験が描かれています。生徒がトイレを使わせてほしいと学校を訴えたという話があります。教育者であり活動家でもあるエイダン・キー氏は、スノホミッシュ学区でトランスジェンダーの生徒をサポートするためのトレーニングを行っています。

- ①あなたの学校や高等教育機関でトランスジェンダー(学生・教職員)のためにどんな社会的資源がありますか？
- ②バスルーム（トイレや更衣室）に関する規定はありますか？
- ③トランスジェンダーの学生のためのクラブや組織はありますか？
- ④トランスジェンダーの生徒を支えてくれる先生、あるいは積極的にサポートすることを表明してくれる先生はいますか？
- ⑤レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、あるいはクィアであることをカミングアウトしている先生はいますか？
- ⑥トランスの学生を支援するカウンセラーや、職員はいますか？

Q：（26:47）トランスジェンダーの児童は、家族がその子のアイデンティティを受け入れてサポートすれば、（不安や抑うつが抑えられ）シスジェンダーの子ども達と変わらないレベルの精神的健康を保てることが検証の結果分かっています。

- ①このことは、トランスジェンダーの不安とうつ病の原因が何にあることを示唆していると思いますか？
- ②中核的アイデンティティが拒絶され、幼い頃から抑圧された人（シスジェンダーまたはトランスジェンダー）は、不安やうつ病のリスクが高いと思いますか？

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ4：トランスジェンダー・エクスペリエンス

Q：トランスジェンダーの人々が、対立や問題が起きることを恐れて、公共トイレの使用を避けたという報告があります。それは、驚くほど高い割合です。[8]

映画の中で、私達は、子ども達の一人、ヴィーの話を直接聞いていますが、ヴィーは学校でトイレを使わなくてもいいように、飲み物を飲むのをやめたと言いました。このような行動は、腎臓や尿路の感染症を頻繁に起こすでしょう。

①トランスジェンダーの子ども達の生活に、差別的なバスルーム法案がもたらす具体的な影響として、（感染症の）他にはどういったことが考えられますか？

②10代のトランスジェンダーや大人の場合の具体的な影響として、（感染症の）他にどのような事が考えられますか？

③差別禁止法がトランスジェンダーの人々の人生にもたらす具体的な成果には、どのようなものがあると思いますか？

Q：トランスジェンダーであることをカミングアウトしている人やトランスジェンダーであることを自覚している人の多くが、幼稚園から高校3年生までのどこかの時点で、「言葉で嫌がらせを受けたり、自認する性別の服を着ることを禁じられたり、身体的暴力や性暴力に遭うなど」のネガティブな経験を1つ以上経験しています。[9]

①あなたはこれまでに、自分のアイデンティティのために、言葉でも身体でも、学校で嫌がらせや暴行を受けたことがありますか？

[8] <https://transequality.org/sites/default/files/docs/usts/USTS-Full-Report-Dec17.pdf>

[9] 同上

（最終検索 2018年11月7日）より

上映後のディスカッションのための 質問集

テーマ4：トランスジェンダー・エクスペリエンス

Q：家族やコミュニティに支えられたり受け入れられていないトランスジェンダーの約40%が自殺を試みたという統計があります。それは米国全体の割合（4.6%）のおよそ9倍です。[10] この統計は、トランスの人々が幼い頃からサポートされ受け入れられている場合は、（平均的なレベルまで）劇的に減少します。映画の中で、幼いアナベルから「生まれて来たくなかった」という言葉を聞いたと母親は言います。また、カミングアウトした結果、家族に拒絶され17歳で自殺したリーラ・アルコーンの話を聞きます。

①映画の中で、拒絶やトランスフォビアがトランスの人々の生活にもたらす壊滅的な影響を説明しているシーンには他にどのようなものがありましたか？

②(1 :25:08) マットの母親は、マットが「世界は素晴らしいし、生きているって幸せだ」と言っている瞬間を共有します。その他に、映画の中で、美しさ、回復力（レジリエンス）、そしてトランスジェンダーの子供たちが家族に支えられ受け入れられたときの喜びを描いているシーンにはどのようなストーリーがありましたか？

[10] <https://transequality.org/sites/default/files/docs/usts/USTS-Full-Report-Dec17.pdf>
(最終検索 2018年11月26日) より

トランスジェンダーであるとは どういうことか

トランスジェンダーであるとはどういうことか、ジェンダーの発達、トランスジェンダーのケア、に関する最新の研究の詳細については、次のリンクを参照してください。

”トランスジェンダーの脳はユニークなのか？”

<https://www.scientificamerican.com/article/is-there-something-unique-about-the-transgender-brain/>

”生殖器を超えた性（Sex）：人間の脳のモザイク”

<http://www.pnas.org/content/112/50/15468>

”性同一性および性的指向に関するヒトの脳の性分化”

<https://www.functionalneurology.com/common/php/portiere.php?ID=1edbbdfc303deac87943d8c5249c8e80>

”ワシントン大学トランスユース・プロジェクト&ジェンダー発達”

<https://depts.washington.edu/scdlab/research/transyouth-project-gender-development/>

”性別変更がトランスジェンダーのウェル・ビーイングに与える影響について、学術研究はどのように述べているか？”(コーネル大学)

<https://whatweknow.inequality.cornell.edu/topics/lgbt-equality/what-does-the-scholarly-research-say-about-the-well-being-of-transgender-people/>

☆原文が参照しているURLをそのまま記載しています。
参照先の情報の正しさを保障しているわけではありません。

*人種

この映画に登場するトランスジェンダーの子ども達5人のうち、3人は白人、1人はアジア系、1人はアフリカ系アメリカ人です。この映画は有色人種のトランスジェンダーの人々（TPoC）が直面している多くの課題に直接取り組んでいるわけではありませんが、可能であればディスカッションのテーマにこのトピックを加えることが重要です。

有色人種のトランスジェンダー女性、特に黒人のトランス女性、白人のトランスジェンダーの男性または女性よりも暴力を経験し、殺される可能性が高くなります。ヒューマン・ライツ・キャンペーンの2017年のレポートによると、「2013年から2017年の102件のトランスジェンダー殺人の内、被害者の86件は黒人またはヒスパニック系かネイティブアメリカンであり、11件が白人、5件は不明でした。」[11]

この問題をより深く掘り下げるには、2015年の米国トランスジェンダー調査報告書を調べましょう。この報告書は、健康、雇用、ホームレスなどのカテゴリー別に章が分かれています。各章では、さらにデータが人種および民族別に分

類されています。レポートは次の明確なパターンを明らかにしています。「有色人種のトランスジェンダーは、（トランスジェンダーの）白人の回答者や、米国の（トランスジェンダーでは無い）人々よりも深く差別的なパターンを経験しています。」（報告書6ページより）

Q.

- ①この調査報告書の情報は、トランスジェンダーの有色人種の経験に対するあなたの理解をどのように変えますか？
- ②（この調査報告書の内容で）あなたを特に驚かせた事実は何ですか？
- ③この体系的な不平等を正すために、私たちの社会ができることはなんですか？

[11] http://assets2.hrc.org/files/assets/resources/A_Time_To_Act_2017_REV3.pdf

（最終検索 2018年12月16日）より

プロジェクト、そして次の段階へ

この映画を見て、あなた自身や、あなたの生徒達がしてみたいと思うかもしれないプロジェクトをいくつか紹介します。

☆補足) 原文には番号は振られていません

- ①あなたの州のバスルーム法について調べてみよう。
州にバスルーム法がある場合は、学校のトイレのルールについても調べてみよう。
- ②米国のトランスジェンダーの権利に関する調査と年表の作成をしよう。(さらにそれを、他の国と比較できるように作ってみよう)
- ③トランスジェンダーの問題や課題に対する啓発キャンペーンに取り組もう。
- ④地域の政治家にバスルーム法案に対する政治姿勢についてインタビューしてみよう。
- ⑤あなたの学校でトランスジェンダーとジェンダー非典型の生徒への支援を広げるための具体的な目標を掲げよう。
例えば、トランスジェンダーの生徒とアライのサークルの設立など。
目標を決めたら、それを実現するために必要なステップを計画しよう。
- ⑥州内の法廷闘争を調査し、トランスジェンダーの権利を求めて闘っている地域のキャンペーンを探して、そのキャンペーンに参加する方法を調べよう。
- ⑦地域社会でカミングアウトしているトランスジェンダーの人々に話を聞いてバイオグラフィックを作成しよう。
- ⑧トランスジェンダーの人々による作品の美術展覧会を企画してみよう。

追加の資料

インターネットは、数え切れないほど多くのリソースで埋尽くされており、ここに記載したリストが全てではありません。

最新の研究と情報に基づいて、お互いに敬意を払い魅力的な議論を育むのために役立つことを願っています。

組織・団体等

- ・米國小児科学会 <https://www.aap.org/>
- ・GLAAD (旧「反差別のためのゲイ&レズビアン同盟」)
メディアに関わるLGBTの人々が立ち上げた、米国の非政府メディア監視団体<https://www.glaad.org/transgender/transfaq>
- ・GLSEN (ゲイ・レズビアン・ストレート教育ネットワーク) <https://www.glsen.org/>
- ・ヒューマン・ライツ・キャンペーン <https://www.hrc.org/>
- ・トランスジェンダー平等ナショナルセンター <https://transequality.org/>
- ・トランスジェンダーの健康のための世界専門家協会 <https://www.wpath.org/>

関連トピック

- ・ColorLines、Race Forward著 (有色人種のトランス女性について)
<https://www.colorlines.com/tags/transgender-women-color> 発行
- ・トランスジェンダーおよびジェンダー・ダイバース・チルドレン/青少年の総合的なケアと支援の確保(AAP) <http://pediatrics.aappublications.org/content/142/4/e20182162>
- ・GLSEN トランスジェンダーとジェンダー非典型の学生に関するモデル学校区政策
<https://www.glsen.org/article/2018-model-school-district-policy-transgender-and-gender-nonconforming-students>
- ・独立したレンズ：多様なジェンダー文化のマップ
http://www.pbs.org/independentlens/content/two-spirits_map-html/
- ・事実：トイレの安全、差別禁止法、トイレ禁止法
<https://www.lgbtmap.org/file/bathroom-ban-laws.pdf>
- ・トランス・ジェンダーの子供と若者の基本理解 ヒューマン・ライツ・キャンペーン
<https://www.hrc.org/resources/transgender-children-and-youth-understanding-the-basics>

著者略歴

(主執筆者) ロー・アドラー

フィラデルフィアを拠点とする教育者であり活動家です。現在、幼児教育者として働いています。社会正義と社会感情学習の問題に関する有意義で繊細なカリキュラムを開発することを専門としています。また、フィリー・チャイルドケア・コレクティブ、リソースジェネレーション、その他の人種的・経済的公正のためのプロジェクトを組織しています。

(共同執筆者) レベッカ・ファビアーノ

ファブ・ユース・フィリー代表 (www.fabyouthphilly.com)

ファブ・ユース・フィリーは、次のプログラムで構成される価値志向の組織です。

SUPPORTS 若者のボランティア団体をサポートします。

CONNECTS 青少年育成のプロフェッショナルどうしをつなぎます。

INNOVATES 10代のためのオリジナルプログラムを開発します。

(共同執筆者) ヴラダ・ノウルトン

「最も過酷な年」の脚本家、監督、プロデューサー。

フィルムアワードの受賞歴を持つ映画制作者で、トランスジェンダーの子どもを持つ親でもある。ブラウン大学で認知科学の博士号を取得。ワシントン州シアトルで夫と3人の子ども達と暮らしている。

☆TMDYガイドブック日本語翻訳プロジェクト

(TMDY Guidebook Japanese Translation Project)

JAPANESE EDITION RC3 released on February 19, 2020

山形純☆、東北学院大学准教授 小宮友根、 にじいろキャンバスSENDAI有志 ほか

☆連絡先：mind_field@icloud.com

連絡先

ウェブサイト：

<https://www.themostdangerousyear.com/>

フェイスブック：

<https://www.facebook.com/TheMostDangerousYear>

インスタグラム：

https://www.instagram.com/explore/tags/themostdangerous_year/

